

T.S.Lines がハイフォンまで8日の新サービス開始 ベトナム/台湾/香港/華南/北九州(門司)航路開設

台湾船社 T.S. Lines 社が、北九州港（門司）とベトナム、台湾、香港、華南を結ぶコンテナ航路を下記のとおり開設した。この航路の開設により、ベトナム最初の輸出加工区で海外から投資を集めて輸出基地として発展している北部の都市「ハイフォン」と、経済的中心地である南部の都市「ホーチミン」に各週1便の計2便のベトナムサービスを同社は提供することとなった。

この航路の開設で北九州港のコンテナ航路は35 航路 185 便になった。

記

1 歓迎訪船

- 1) 日 時 平成24年4月7日（土） 17:00~17:30
- 2) 場 所 太刀浦第1コンテナターミナル 「LEGUAN」 船内
- 3) 内 容

- ①歓迎挨拶 北九州市港湾空港局物流振興課長 岡島 保
 - ・この航路は、日本では北九州港にだけ寄港する航路
 - ・釜山港から半日で寄れる北九州港の地理的優位性が活かされた航路
 - ・北九州港にとって大変に意義深い航路の開設であり大いに期待している。
- ②記念の盾、花束の贈呈 物流振興課ポートセールス担当 佐々木 尚美
- ③船長挨拶 ムルキン船長
 - ・建造して2年目の新しいコンテナ船で、航行速度も速く、燃費も良いことから安全で定時性の高い運航により、信頼されるサービスを提供したい。
 - ・北九州港は初めての寄港であるが、パイロット、タグボート、代理店、荷役など港湾サービス全般に質が高く、安心して寄港できる港であると実感した。

2 新規航路の概要

- 1) 船 社 T.S.Lines 社
2001年4月に設立された台湾船社（本社：台北市）
2011年の北九州港コンテナ取扱量ランキング第7位
- 2) 航 路 門司・北九州港（土）⇒基隆・台湾（3）⇒台中・台湾（3）⇒高雄・台湾（4）⇒香港（5）⇒ハイフォン（8日）⇒蛇口・中国 ⇒香港 ⇒廈門・中国 ⇒蔚山・韓国 ⇒仁川・韓国 ⇒釜山・韓国 ⇒門司・北九州港
- 3) 投入船

船名	コンテナ積載量/TEU	総トン数
LEGUAN	1,085 TEU	12,514 G/T
ASIATIC WAVE	1,147 TEU	9,978 G/T
SVENDBORG STRAIT	1,085 TEU	12,514 G/T

4) 代理店・港運会社

- ①総代理店 ベン・ライン・エージェンシーズ・ジャパン（東京都港区）
- ②北九州地区代理店 ホーム・リンガ商会（北九州市門司区）
- ③北九州地区港運会社 門菱港運（北九州市門司区）

3 北九州港のベトナム航路

1) コンテナ航路の推移

北九州港のベトナム航路の開設は1994年（平成6年）6月で、この5年間の航路数の推移は下記のとおり。

速報値ではあるが、前年比46.6%増のベトナムは、取扱量の上位10ヶ国の中では、最も伸び率の高い貿易相手国であり、この航路の開設によりさらに増加することを期待している。

	2012年	2011年	2010年	2009年	2008年
航路数	5社20便	4社16便	1社4便	1社4便	4社16便
貨物量	—	4,034	2,790	1,582	2,448TEUs
前年比	—	144.6%	176.4%	64.6%	114.1%

2) 2011年コンテナ取扱量トップ3

■輸 出

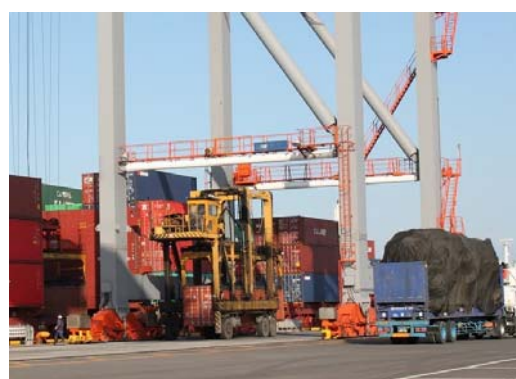
品名	TEUs	シェア
①産業機械（精密機械、中古機械）	388	19.7%
②その他農産品（植木、苗木など生きている植物）	322	16.3%
③輸送用容器（パレットその他積載用ボード）	206	10.5%

■輸 入

品名	TEUs	シェア
①家具装備品（家具、浴槽、洗面台、便器）	627	34.8%
②化学薬品（合成樹脂、肥料）	244	13.5%
③水産品（魚介類の冷凍食品）	235	13.0%



「LEGUAN」



荷役作業



歓迎訪船行事



CY 内で荷役を待つ植木